

第3回 県立高等学校改革懇談会 『保原定時制・福島中央』

日時：令和2年7月30日（木） 14:00～15:00

場所：保原高等学校 会議室

福島県教育委員会

本日の進め方

1	第2回懇談会の内容といただいた御意見について
2	充実した統合校を目指して
3	今後のスケジュールについて

1

第2回懇談会の内容といただいた
御意見について

急激な少子化

- 全県的な中学校卒業見込者数の減少
 - ・ 2017年～2028年の間で 約5,300人(28.9%) の減少
- 県北地区の少子化
 - ・ 2017年～2028年の間で 約1,400人(30.2%) の減少
- 両校の募集定員充足の状況（直近3年間）

	2018(H30)年	2019(R1)年	2020(R2)年
保原(定時制)	16	13	8
福島中央	12	6	10

高校改革が喫緊の課題に

保原高校

- 定時制・普通科1学級
(定員40名)
所在地：伊達市保原町
・伊達地区の勤労青年の学習機会の場として地域人材の育成に寄与。

福島中央高校

- 定時制・普通科1学級
(定員40名)
所在地：福島市渡利
・福島市内の勤労青年の学習機会の場として地域人材の育成に寄与。

両校の伝統を引き継いだ高校

定時制 普通科 1学級 (定員 40名)
場所：福島中央高校 開校：2022(R4)年

伊達地区から安達地区に至る広い県北地区の普通科の定時制高等学校として、自分のペースに合わせて学べ、手厚い学びの支援を行う学校

統合時（令和4年4月）のイメージ

現在	令和4年度	カリキュラム
現中学2年生 →	統合校1年生	統合校の新しいカリキュラム
現中学3年生 →	統合校2年生	入学時のカリキュラムのまま (カリキュラムに変更なし)
現高校1年生 →	統合校3年生	
現高校2年生 →	統合校4年生	



第2回懇談会で示した主な取り組み

- ① 夕間部を導入
- ② 生徒の学習ニーズに合わせた柔軟な学びを実践
- ③ 進路意識を高める取り組みを導入
- ④ 一定規模の集団の中で人間性・社会性を育成
- ⑤ 生徒に寄り添った丁寧な学習指導や相談体制を継承

第2回改革懇談会でいただいた御意見①

① 夜間部の必要性について

- ・生活するためにアルバイト等をしなければならない生徒のためにも夜間部を残してほしい。
- ・これまで夜間部に入学するような生徒の今後の進学先を考えると夜間部は残すべきである。

② 定時制の多様な生徒について

- ・学び直しと考えている生徒もいれば、更なる高みを目指す生徒もいるので、そうした多様な生徒の学習ニーズに応えられるようにしてほしい。
- ・様々な背景を持った子どもたちの学びの場であってほしい。

第2回改革懇談会でいただいた御意見②

③ 統合校の教育内容について

- 高校で再スタートしたいと考える生徒の学び直しのものであるとしてほしい。
- 不登校経験が多いからこそ、より多くの生徒と関わることができる環境や経験を増やしてほしい。
- 子どもが学びやすい学校にしてもらうのを一番に考えてほしい。
- 自分のキャリアをイメージしながら、社会的スキルをしっかりと身につけていけるような教育内容を検討してほしい。



統合によって何が充実するのかが大切である

第2回改革懇談会でいただいた御意見③

④ 不登校生徒への対応について

- 不登校や様々な課題を抱えた生徒の学びの場であるべきではないか。
- 不登校などの観点から、定時制の統合については少子化とは別の観点で考えて欲しい。

⑤ 通学負担について

- 通学の負担を減らすような工夫が欲しい。
- 通学の面で、距離が長くなることが統合校の選択を妨げる要因になる可能性はある。通学への配慮をしてほしい。

2

充実した統合校を目指して

① 夜間部の必要性について → 夕・夜間部の設置

夕間部	夜間部
14：40～18：40	17：25～21：05
・遠隔地から通いやすい時間帯	・現在の両校と同じような時間帯 ・昼間のアルバイトも可能

- ・入学定員は夕・夜間部合わせて40人1学級
- ・高校入試合格発表後に自分の生活スタイルに合わせて選択

② 定時制の多様な生徒について → 単位制の導入

多様な生徒の学習ニーズ

(例) 4年間かけてじっくり学びたい、3年で卒業したい、資格を取得したいなど

現在の制度 (学年制)

- ・科目を一つでも落とすと留年 (原級留置) になる
→ 修得した科目もすべて受け直し
- ・全員が同じペース (4年) で学習
- ・資格取得やボランティアなどの生徒の活動が単位として生かされない

単位制

- ・科目を落としても進級できる
- ・自分のペース (4年・3年) で学習できる
- ・資格取得やボランティアなどの生徒の活動を単位として生かすことができる

多様な生徒のニーズに応えることができる

③ 統合校の教育内容について → 教育内容の魅力化

キャリア教育の充実

卒業後の社会的・職業的自立を支援する

※ より組織的に行っていく



基礎学力の
定着

職業観・勤労観の
育成

人間性・社会性の
涵養

統合校の具体的な教育内容について①

基礎学力の 定着

中学校までの学習内容を復習する授業の導入

基礎科目である国語・数学・英語の内容を丁寧に復習する
→ 高校で再スタートを考える生徒を全面的に支援

職業観 勤労観の 育成

商業や家庭の専門科目の導入

ビジネス基礎やフードデザインなど就職や卒業後の社会人としての生活に役立つような専門科目を導入する。資格取得も推奨
→ 生徒の社会的自立を促すための新たな取り組み

人間性 社会性の 涵養

集団活動に重きを置いた企画の充実

生活体験発表などを通して、他者と関わり合う場面の充実
→ コミュニケーション力・表現力や協調性を育成

統合校の具体的な教育内容について②

卒業後の社会的・職業的自立を支援する

- ① 中学校時代の学習内容の復習を目的とした授業
- ② ICT機器を利用するなど授業内容の充実
- ③ ITや習熟度別授業などによる丁寧な指導
- ④ 学習支援員などによる個別指導の充実

基礎学力の定着

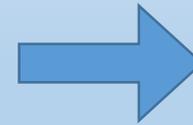
- ① ハローワークとの連携によるキャリア講習会や地域の第1線で活躍する方からの講演会
- ② 各種検定試験の推奨
- ③ 商業や家庭などの専門科目の導入
- ④ 大学等との連携事業

職業観・勤労観の育成

- ① 生活体験発表会など集団活動に重きを置いた企画の導入
- ② クラス活動や学校行事の充実や給食の実施など食育の充実
- ③ ボランティア活動や読書指導の実施
- ④ 総合的な探究の時間の充実

人間性・社会性の涵養

④ 不登校生徒への対応について



教育相談の実践

生徒

学校

- ・面接週間の設定
- ・三者面談の実施
- ・各種アンケートの実施



関係機関

- ・スクールカウンセラーの来校
- ・学校医の支援
- ・スクールソーシャルワーカーの支援

必要に応じて
教育相談チームによるケース会議

- ・学校と関係機関が密接に連携して生徒一人一人を手厚く支援
- ・自己肯定感の育成

校舎方式について

統合3年目まで2つの校舎を使用
それぞれの教育課程、時間割、時程で卒業まで学習



統合校本校舎 (福島中央高校校舎)

統合前	在校生 1年生	在校生 2年生	在校生 3校時	在校生 4校時
統合1年目	統合校 1年生	在校生 2年生	在校生 3年生	在校生 4年生
統合2年目	統合校 1年生	統合校 2年生	在校生 3年生	在校生 4年生
統合3年目	統合校 1年生	統合校 2年生	統合校 3年生	在校生 4年生
統合4年目	統合校 1年生	統合校 2年生	統合校 3年生	統合校 4年生

メリット

生徒は卒業までそれぞれの校舎において、通学の負担も含め、それまで通りの環境で安心して活動することができる

統合校保原校舎 (保原高校定時制課程校舎)

在校生 1年生	在校生 2年生	在校生 3校時	在校生 4校時
	在校生 2年生	在校生 3年生	在校生 4年生
		在校生 3年生	在校生 4年生
			在校生 4年生

一体感

学校行事については、統合校としての一体感を醸成するため、合同での実施を検討



保原高校定時制・福島中央高校統合校 令和4年度4月開校

保原高校定時制課程
40人1学級普通科定時制

卒業と社会的自立をめざし未来を拓く



県内初の夕間部・夜間部の多部制定時制高校
(普通科1学級40名定員)
自分にあった部を選ぶことができ、それぞれのペースで学ぶことができます

福島中央高等学校
40人1学級普通科定時制

70年以上の歴史を持つ伝統ある定時制



自立・協働・創造の校訓の基、両校の生徒に寄り添ったきめ細やかな指導を継承し、生徒一人一人の**社会的・職業的自立**を支援し、**キャリア教育の充実**した学校を目指します

校舎方式を採用
統合前の入学生徒はそれぞれの高校で卒業できます。

基礎学力の定着

職業観・勤労観の育成

人間性・社会性の涵養

- **中学校までの学習内容**を復習できる授業を通して、基礎学力の定着を図ります
- **TTや分割授業**などを通して、生徒それぞれの弱点克服に努めます
- **ICTを活用した授業**を通して、生徒の理解度に応じた丁寧な指導を展開します

- **マナー講習やキャリア講演**を通して、生徒の進路実現100%を目指します
- **商業や家庭の専門科目の学習**を通して、卒業後の就職に役立てます
- **各種検定の資格取得**を通して、職業選択の幅を広げます

- **生活体験発表会**を通して、コミュニケーション力や表現力の育成を目指します
- **充実したクラス活動や学校行事**を通して人間性・協調性の育成を目指します
- **総合的な探究の時間での活動**を通して「問題解決能力」の育成に努めます

夕・夜間部の設置

自分のスタイルに合わせて

単位制の導入

多様な学習ニーズに応じて

教育相談の実践

一人一人の悩みと向き合って

3

今後のスケジュールについて

教育内容検討委員会及びワーキンググループにおける 開校準備スケジュール（案）

令和元年度 (2019)					令和2年度 (2020)												令和3年度 (2021)												令和4年度 (2022)			
11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4			
教育方針 教育目標					教育課程・ 校名の検討												中学生への説明												統合校			
魅力化・特色化 の検討					校名・校章の募集												体験入学実施												統合校 開校式 入学式			
					・統合校案内の作成												生徒交流会 の実施												統合校 入学者選抜			
令和元年度入学生 ：統合時4年生					令和2年度入学生：統合時3年生												令和3年度入学生：統合時2年生															